

Liberty



リバティおおさか
大阪人権博物館

〒556-0026大阪府浪速区浪速西3-6-36
TEL.06-6561-5891(代) FAX.06-6561-5995
ホームページ <http://www.liberty.or.jp/>

リバティおおさかの運営継続と発展のため、皆さんに支援を訴えます

皆さんは、大阪人権博物館という正式名称をもつリバティおおさかを知っていますか、また来られたことがありますか。

リバティおおさかは1985年12月に開館した日本で初めての人権に関する総合博物館です。これまで約145万人が訪れていることに表れているように、リバティおおさかは人権の教育や啓発など人権意識を高めるために、重要な公的役割を果たしてきました。

このようなリバティおおさかの重要な公的役割をふまえて、大阪府と大阪市からリバティおおさかの全経費の約85%に対して補助金をいただけてきました。しかし大阪府知事と大阪市長は2012年4月に、リバティおおさかの展示内容が差別と人権に特化している、子どもに夢と希望を与えるものになっていない、自らの価値観にあわないという理由で、8月からの補助金の全面打ち切りを表明しました。これに対して当館の存続を危惧する声が挙がり、8月からの大阪府と大阪市の補助金は約20%削減して支出されることになりました。しかも大阪府知事と大阪市長はリバティおおさかを自立させ、そのために2013年度からの補助金を全面的に廃止すると表明しています。しかし、ここで私たちはリバティおおさかの歩みを簡単に止めるわけにはいきません。当館の役割は、子どもが夢と希望をもつために、克服すべき差別と人権に焦点を当てることだと考えています。4月以降、リバティおおさかに対して、存続を心配する多くの声が寄せられています。また、存続のために支援するという力強い励ましの声も届いています。このような心配する声や励ましの声に応えるためにも、私たちは2013年度からもリバティおおさかを存続させる決意です。

私たちはリバティおおさかが果たしてきた役割をふまえ、大阪府と大阪市に物心両面にわたる公的支援を求めています。これは人権の教育や啓発など本来的に大阪府や大阪市が実施する事業を、ある意味ではリバティおおさかが行ってきたことからすると、大阪府と大阪市の公的支援は当然だと思われる。しかし私たちは公的支援の必要性を認めながらも、公的支援のみに依存することは考えていません。これまで私たちは自主財源確保による自主的運営、つまり自立化にも力を入れてきました。今後は公的支援の内容や程度の如何に関わらず、自主財源確保による自主運営の道を探っていく予定です。

場合によっては、2013年4月から大阪府と大阪市の補助金が全面的に廃止されるという厳しい状況も予想されるだけに、自主財源確保は重要です。しかし補助金の全面廃止に対応するという消極的な意味ではなく、これを機会に皆さんと一緒に自主財源を確保した自主運営を実現し、積極的にリバティおおさかをより力強く発展させていきたいと考えています。すなわち、人権に関心のある人びとによって支えられ発展するリバティおおさか、という発想です。

2013年度からの事業では、①博物館として人権に関する総合展示や特別展、企画展を充実させる、②博物館の特性を活かして人権教育・啓発のための多様な事業を推進する、③集客施設としてのホールを活用して人間性豊かな文化事業をおこなう、④浪速区や地元自治会と連携し、地域に開かれたホール等の運営をおこない、芦原橋駅周辺の賑わいと活性化に貢献すること、を重視します。

人権に関心のある人びとによって支えられるリバティおおさかを創り上げ、以上のような事業を推進していくためには、従来の経費を精査して削減するとともに、公益財団法人の特性を活かした自主財源の確保が必要だと考えています。自主財源の確保の中で、最も力を入れるのがスポンサー制度とサポーター制度です。スポンサーとは寄附金をいただく企業や団体のことで、年間1口がA—100万円、B—10万円です。サポーターとは個人のことで、年間1口が6000円です。皆さんの支援によってリバティおおさかを存続させようと思っています。是非ともリバティおおさかを存続させるため、皆さんの支援をよろしくお願ひします。

公益財団法人 大阪人権博物館 理事長 成山治彦

企画展「企業とCSR—さまざまな取り組みの現場から—」

2013年1月29日(火)～3月17日(日) 主催:大阪人権博物館

大阪で活動する企業が積極的に取り組んでいるCSR(企業の社会的責任)の事例や今後の課題などを明らかにします。

●講演会「CSRのいまとこれから」 菅原絵美(大阪大学大学院国際公共政策研究科 特任研究員)

日時:2月19日(火) 14:00～16:00 定員:72名(当日先着順) 会場:研修室2

●「リバティおおさか」支援公演●

野原—ヒミコ伝説— ヒミコはどんな女性だったのか。平和を願う阿笠清子の描くヒミコとは・・・

日時:2013年2月17日(日) 14時開演(13時受付) 会場:リバティホール

主催:演劇集団agasa 協力:リバティおおさかの灯を消すな全国ネット

チケット料金 1800円(1000円を支援金としてリバティおおさかに寄付します) ●お問い合わせ 090-8162-5155(阿笠まで)

●毎週日曜日 14時～ 展示室での学芸員解説をおこなっています。

■休館日 年末年始、1月7(月)/15(火)/21(月)/25(金)/28(月) 2月4(月)/12(火)/18(月)/22(金)/25(月)
3月4(月)/11(月)/18(月)/22(金)/25(月)

来館者の声(2012年9月～10月)

◎学校でも、色々な人権に関して勉強してきましたが、リバティおおさかに見に来て知らないことをたくさん、また知れたので、これから社会に役立てていけるようにしたいと思いました。(大阪市、10代)

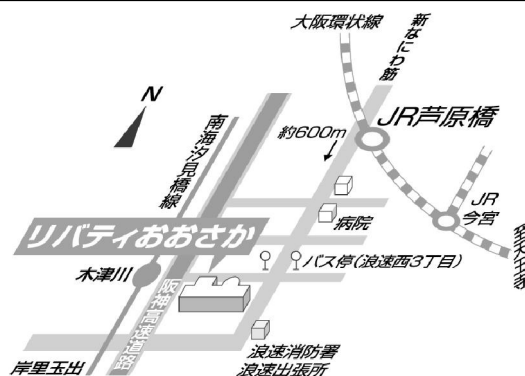
◎人権に関する総合的な展示・啓発施設として貴重で重要な存在。是非存続することを願う。(兵庫県宝塚市、60代)

◎元々「リバティおおさかはすばらしい施設だ、人権というものを学ぶのにいろんな分野を網羅している」という評判を聞いていたので、楽しみにして来ました。2時から見学をはじめて今4時ですが、まだ全部見きれていません。以前より縮小されてしまったようですが、縮小した分野にこそ、本来表に出さなくてはならない部分が隠されているように思えてなりません。元通りの展示にしてほしいです。(大阪府堺市、40代)

◎私にとって、このリバティおおさかは「心のよりどころ」です!大阪に来る時は必ず寄って帰ります。というのは、私にとって自分を振り返る貴重な場だからです。「人権について学ぶ場」があることの素晴らしさをうらやましく思っています。決してなくてはほしくありません。遠い所にいつもは住み暮らしていますが、又必ず来ます。絶対に残して欲しいと思っています!!(大分県、50代)

◎日本におけるあらゆる人権問題の歴史、現実、未来と人間にとって重要なテーマを柱とした本博物館の存在は貴重であり、存続の危機に直面していることを残念に思います。順路にそって見るだけでもかなりボリュームがありました。体験コーナーは其中で心身のリラックスをわかりながら、人権学習ができると思います。動物園など展示に工夫されて集客数を増やしているようです。さらなるアイデアを期待します。(長崎県、50代)

- 開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 月曜日(休日除く)、祝日の翌日(日曜日除く)
第4金曜日、年末年始、臨時休館日
- 入館料 大人250円(200円)、高大生150円(100円)
※中学生以下、65歳以上、障害者(介助者含む)は無料
※()内は有料入館者が20名以上の場合
- 電車でお越しの方 JR環状線「芦原橋駅」南出口、600m



広報リバティ58号 2013年1月1日発行 編集・発行 大阪人権博物館

〒556-0026 大阪市浪速区浪速西3-6-36 TEL 06-6561-5891 FAX 06-6561-5995 ホームページアドレス <http://www.liberty.or.jp/>

本年もよろしくお願いたします。



